

## 要請番号 (JL11523A02)

募集終了



| 国名     | 職種コード 職種     | 年齢制限 | 活動形態 | 区分        | 派遣期間 | 派遣隊次                      |
|--------|--------------|------|------|-----------|------|---------------------------|
| ミクロネシア | I102 障害児・者支援 |      |      | 交替<br>2代目 | 2年   | ・2024/1・2024/2・<br>2024/3 |

## 【配属機関概要】

## 1) 受入省庁名 (日本語)

チューク州政府教育局

## 2) 配属機関名 (日本語)

アコイコイ小学校  
NGO

## 3) 任地 (チューク州ペニア) JICA事務所の所在地 (ポンペイ州コロニア)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (飛行機+車で 約 2.0 時間)

## 4) 配属機関の規模・事業内容

幼児部(4~5歳対象)と小学校の部(日本の小学校1年生から中学2年生対象)の児童生徒を対象に無償で教育を提供しているチューク州教育局から認可を受けたNPO法人である。チューク州の教育カリキュラムに沿った授業を実施しているが、特に英語教育に力を入れている。全校生徒は135名程度。コロナ禍前は国内外のボランティアを含め7名の教員がいたが現在は4名に減少し校長の家族が授業を行っている。小学校があるチューク州ペニア地区は、一人当たりの所得平均は1日1ドルを下回る貧困地区であるが、教育水準が低く、就職率が低いことから、教育を強化して青少年の健全な育成を目指している。英語教育に力を入れているため、ミクロネシア地域随一の進学校(ザビエル高校)への入学者も数名輩出している。

## 【要請概要】

## 1) 要請理由・背景

当小学校には、50名程度の特別支援教育が必要な児童生徒がいる。症状は多岐にわたり、自閉症スペクトラム障害、難読症、弱視、難聴、注意欠陥障害、注意欠陥多動症などがある。自閉症以外の児童生徒については、医師による診断の機会がないので、現地の教員が子供たちとの関わりの中で判断している。教員には、特別支援教育の専門知識を持った者がいないため、隊員を要請し、児童生徒への指導と共に、現地教員へ彼らとのかかわりについての指導も求められている。学校では、インクルーシブ教育を取り入れており、同じ教室の中で、ともに授業を受けているため、隊員はその中での活動がメインとなるが、特別支援クラスが必要と判断されれば、教室を別に設ける準備もある。コロナ禍前は7名居た教員が4名に減少し、特別支援教育が必要な生徒数は2倍以上に増えており、支援が必要な状況になっている。

## 2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 特別支援が必要な児童生徒約50名の授業中のサポートを行う。  
(1クラス15名程度のクラス規模に4~5名の特別支援が必要と思われる児童生徒が含まれている)
- 同僚教員と保護者へ対し、特別支援が必要な子供たちへの理解、接し方の方法をアドバイスする。

## 3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

PC、プリンター、プロジェクター、iPad、Kindle、教科書

## 4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:  
校長: 30代 女性 経験10年 ソーシャルワーカー (学校設立者の娘)

教員:  
学校設立者の60代の男性(校長の父親、米国人)  
校長の30代の弟、30代の従兄弟

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

英語

7) 選考指定言語

英語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]：(特別支援学校教諭)  
(小学校教諭)

[学歴]：( ) 備考：

[性別]：(男性) 備考：女性を対象とした住居等確保が  
困難

[経験]：(実務経験) 2年以上 備考：指導的な立場にな  
るため

[汎用経験]：

- ・ 障害者を対象とした活動経験
- ・ 特別支援学級での活動経験

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(熱帯雨林気候) 気温：(25～32℃位)

[電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可)

[水道]：(安定)

【特記事項】

ホームステイ(現地の一般家庭で寝食を共にしながら共同生活する)の可能性がある。現地語(チューク語)の研修を実施予定。